

※ 計画の検討段階での資料のため取り扱いは注意してください。

「亀岡市の公共交通に関するアンケート調査」 調査結果概要版

1. アンケート調査の目的

亀岡市内にお住まいの方の日常生活の公共交通の利用状況や、将来の亀岡市の公共交通のあるべき姿についての意向を把握することを目的に、亀岡市民を対象としたアンケート調査を実施した。

2. アンケート調査方法・調査項目

① 調査対象

- ・無作為抽出により満15歳以上1,500人を対象者に選定。
- ・対象者数は市内各エリアの人口に比例するように按分した。

② 調査実施時期

- ・平成30年8月15日（水）～8月31日（金）

③ 調査票の配布・回収方法

- ・配布方法：依頼文・アンケート調査票・返信用封筒を郵送により配布
- ・回収方法：返信用封筒を用いた郵送による回収

④ 回収件数と回収率

配布数	有効回収数	有効回収率
1,500	622	41.4%

⑤ 質問項目

問1 個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・年齢 ・職業 ・お住まい ・世帯状況 ・運転免許の有無、自動車等の保有状況 			
問2 日頃の目的別の行動・移動内容	<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学 ・買い物 ・通院・福祉・地域活動 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">X</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・行き先 ・行動頻度 ・利用交通手段 ・JR 利用の際の最寄り駅 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学 ・買い物 ・通院・福祉・地域活動 	X	<ul style="list-style-type: none"> ・行き先 ・行動頻度 ・利用交通手段 ・JR 利用の際の最寄り駅
<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学 ・買い物 ・通院・福祉・地域活動 	X	<ul style="list-style-type: none"> ・行き先 ・行動頻度 ・利用交通手段 ・JR 利用の際の最寄り駅 		
問3 ・ふるさとバス ・コミュニティバス ・京阪京都交通バスの利用状況、今後のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度および利用目的 ・現在の満足度(路線・系統、運賃、ダイヤ、車両) ・利用しない理由 ・公共交通(バス)の維持に対する考え方 			
問4 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市内の公共交通についての意見 			

調査結果（各集計結果では「不明・無回答」を除く）

① 市民の交通手段状況

ア 運転免許の保有状況

- 「免許なし」「返納した」の割合は年齢が上がるにつれ増加。
- 「返納した」の割合は60歳代以上で増加。80歳代では14.0%が返納済み。
- 性別では、女性の方が「なし」の割合が高く、免許非保有者は高齢者の女性が多いものと推察される。

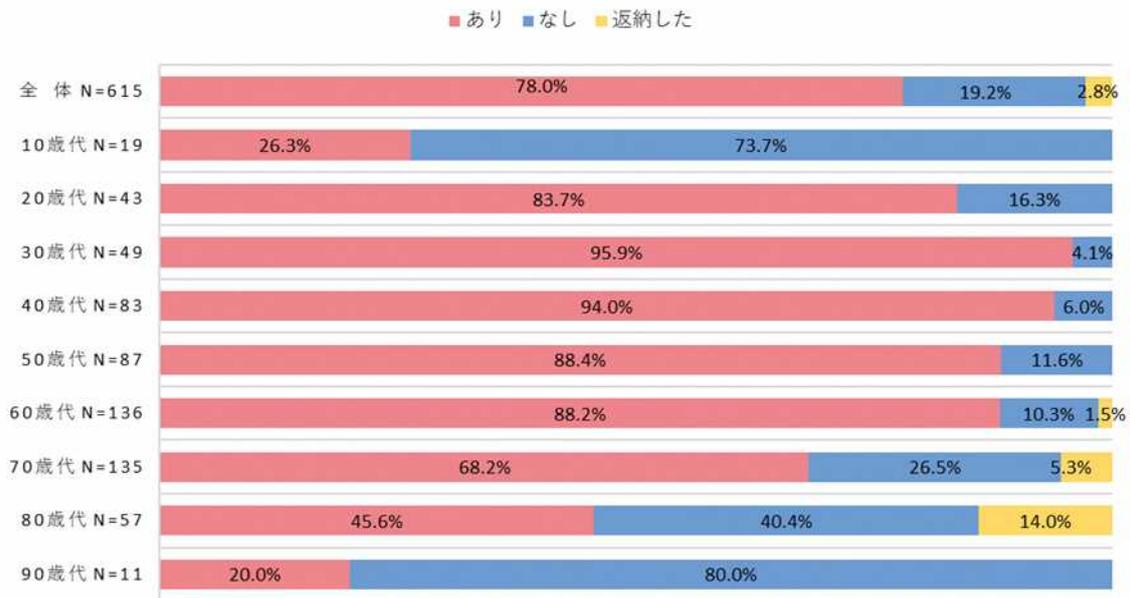


図1 年齢別運転免許の保有状況



図2 性別運転免許の保有状況

イ 自動車の保有状況

- 78.1%の人が自宅に自動車を保有している。
- 「1台」のみの保有が66.1%。残る33.9%が2台以上の複数台を所有。うち6.4%が3台以上も保有している。

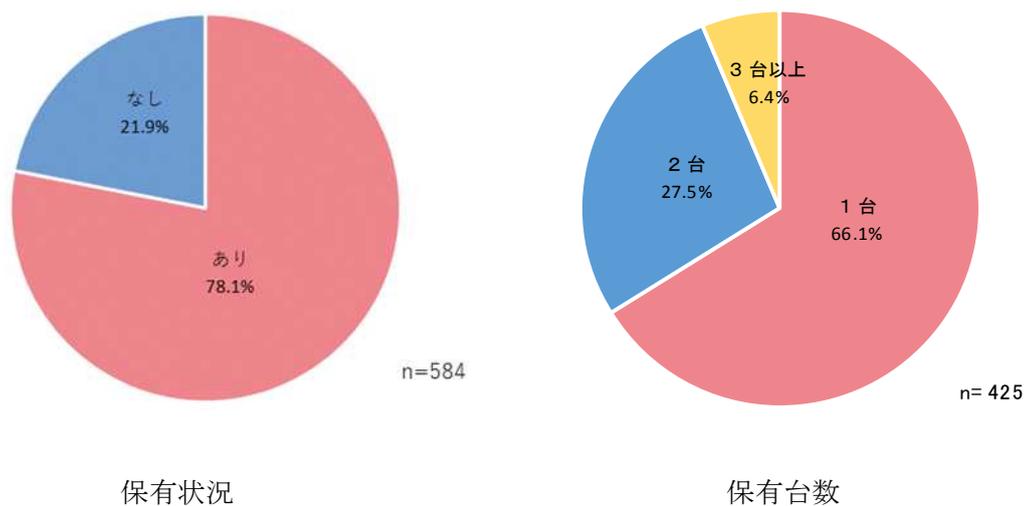


図3 自動車の保有状況・保有台数

② 市民の移動状況

ア 目的別移動状況と移動頻度

- 「買い物」が87.3%と高く、多くの人が「買い物」での移動が多い。
- 「通勤・通学」と「通院・福祉・地域活動」の外出は55%程度。
- 「買い物」「通院・福祉・地域活動」の外出頻度は週に1~2回、もしくは週に3~4回が多い。

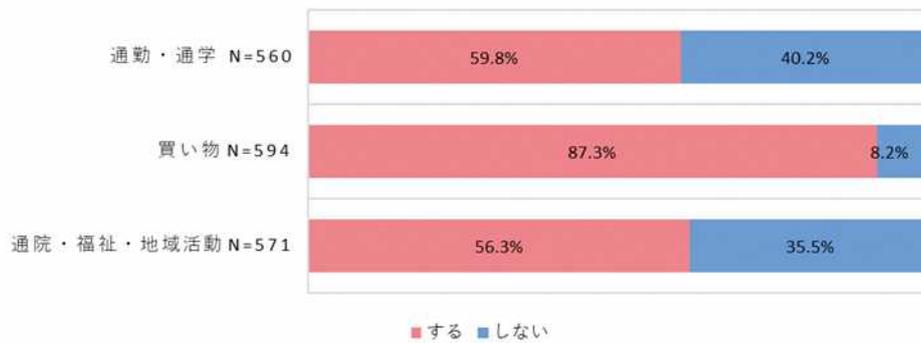


図4 目的別外出状況

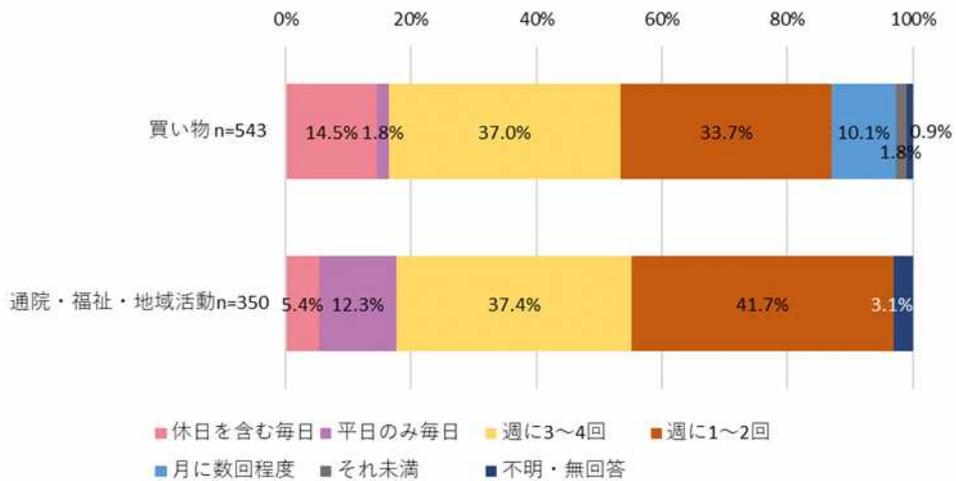


図5 買い物と通院・福祉・地域活動別の外出頻度

イ 通勤・通学目的地

○亀岡市内が44.5%と約半数を占めている。亀岡市外では京都市が31.0%、南丹市が11.0%となっており、大阪府は7.1%である。

○地区別では、篠地区とつつじヶ丘地区では京都市への通勤・通学者が亀岡市内を上回っている。また、西部・中部・南部地区は亀岡市内の通勤・通学者の割合が高い。

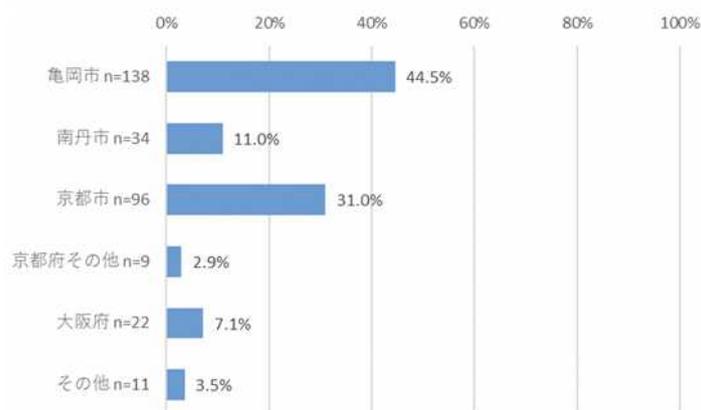


図6 通勤・通学目的地

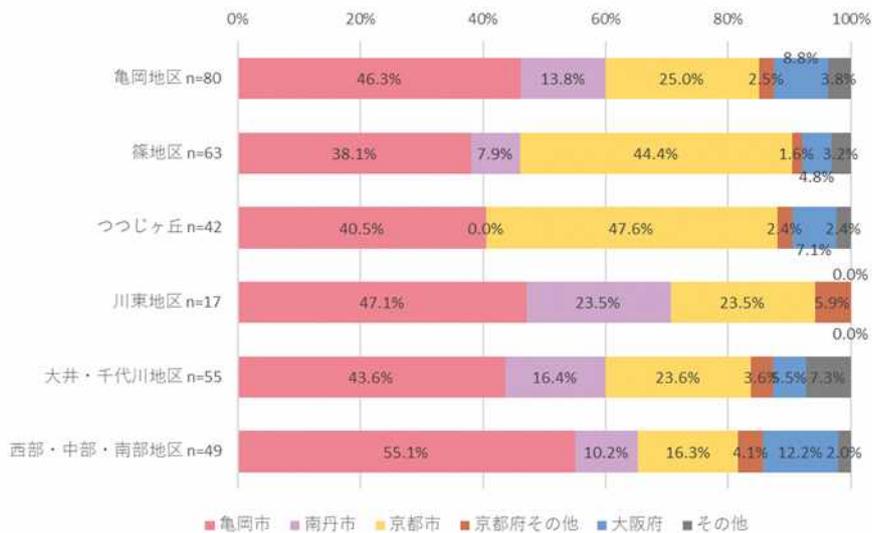


図7 地区別の通勤・通学目的地

ウ 目的別利用交通手段（複数回答）

- いずれの目的において「自分で自動車を運転」の割合が最も高い。日々の暮らしにおいて自動車の依存度が高いといえる。
- 公共交通の利用状況をみると、「通勤・通学」での JR 山陰本線の利用率が 36% と高い。また、「買い物」は 10% 「通院・福祉・地域活動」は 12% の利用率となっている。
- バスについては、京阪京都交通バスの「通勤・通学」目的で利用割合が 8% と最も高く、「通院・福祉・地域活動」目的が 6% となっている。その他の利用率は 1～5% と低い。

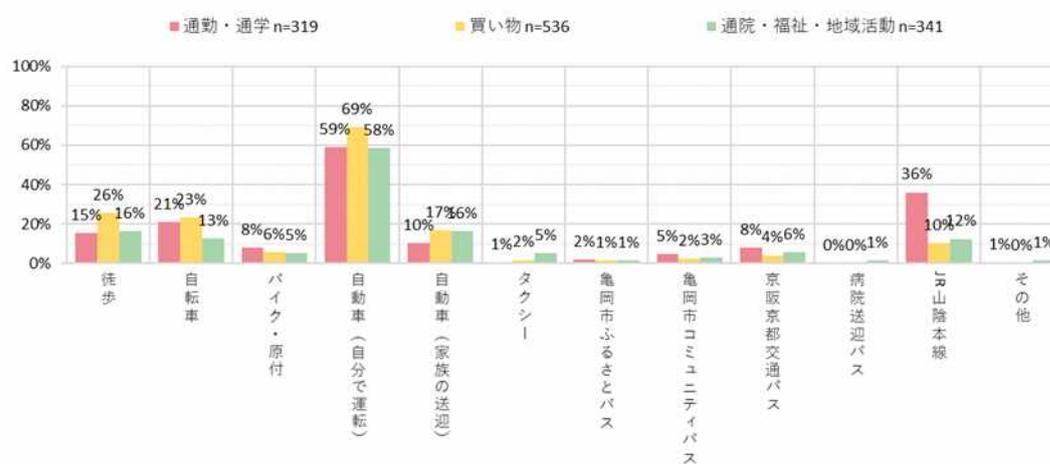


図 8 目的別利用交通手段

エ 免許非保有者の目的別利用交通手段（複数回答）

- 「自転車」、「家族送迎による自動車」、「JR 山陰本線」等の割合が高い。
- 年齢別にみると、10歳代の免許非保有者は「自転車」での移動割合が高いが、年代が上がるにつれ割合は低くなる。
- 60歳代や70歳以上の免許非保有者は「徒歩」や「自動車（家族による送迎）」の割合が高い。また、70歳以上はタクシーの利用割合が他の世代と比べて突出している。

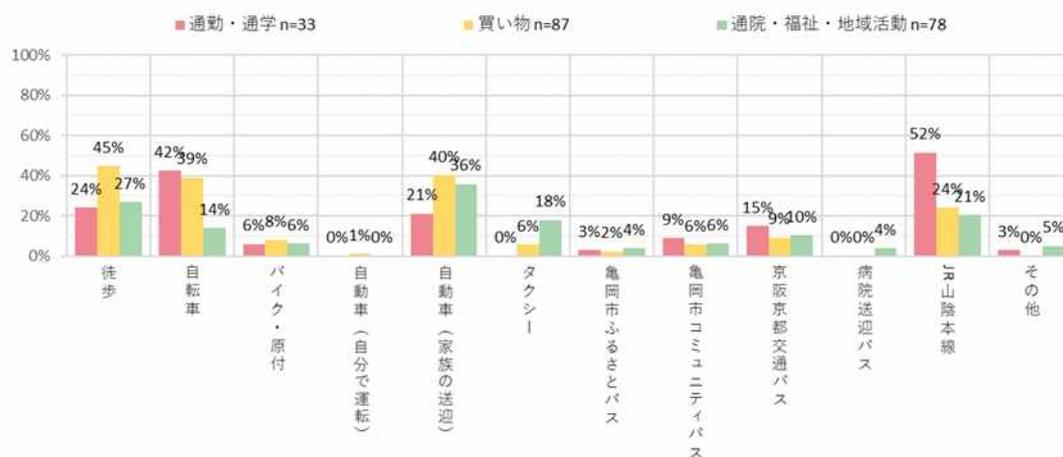


図9 免許非保有者の目的別利用交通手段

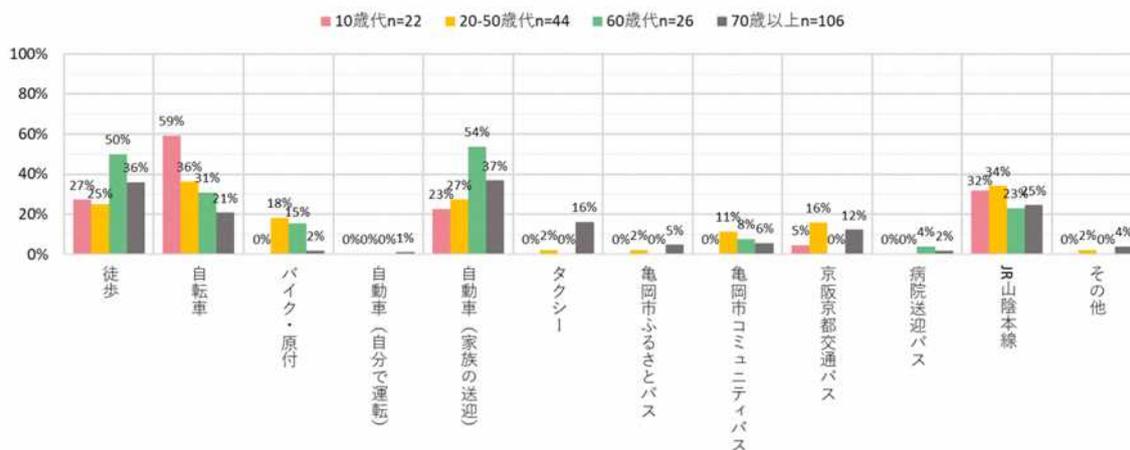


図10 免許非保有者の年齢別利用交通手段

オ 免許返納者の交通手段（複数回答）

○当初からの免許非保有者と比べて「亀岡市ふるさとバス」「亀岡市コミュニティバス」「京阪京都交通バス」のいずれも利用率が高い。一方で「自動車（家族の送迎）」は低い。

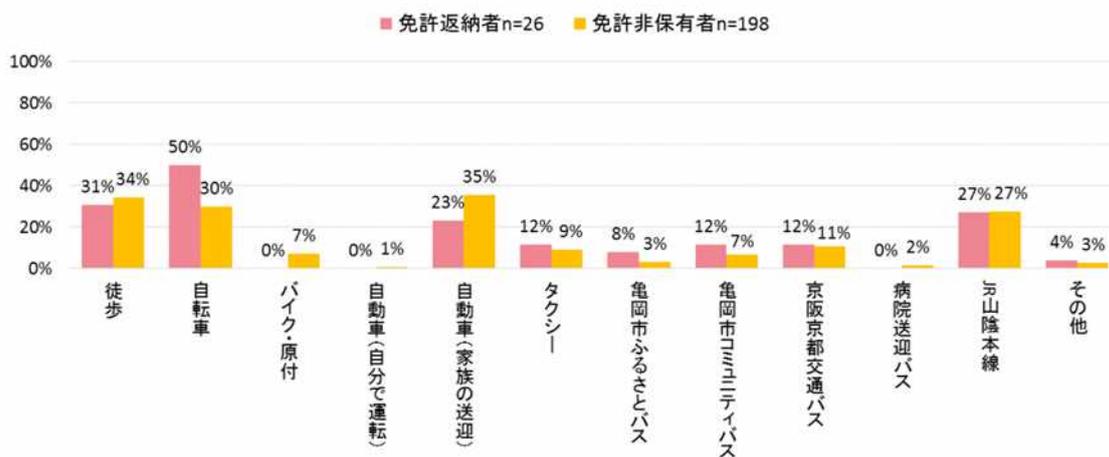
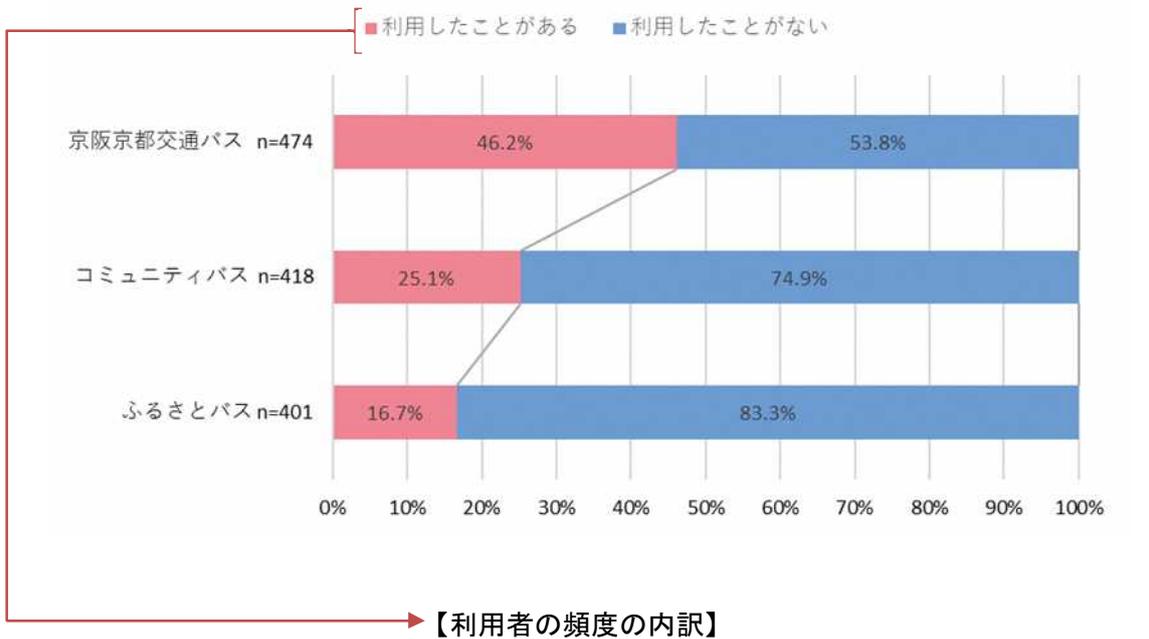


図 1 1 免許返納者の交通手段

③ 市民のバス利用状況

ア 各バスの利用状況

- 京阪京都交通バスが他のバスと比較して、利用率が高い。しかし全てのバスで「利用したことがない」が過半数以上を占めている。
- 全てのバスで約半分の方が「年に数回程度」の利用となっている。
- また京阪京都バスの利用頻度が他のバスと比べて高いが、通勤・通学利用者が比較的多いことが理由として考えられる。



【利用者の頻度の内訳】

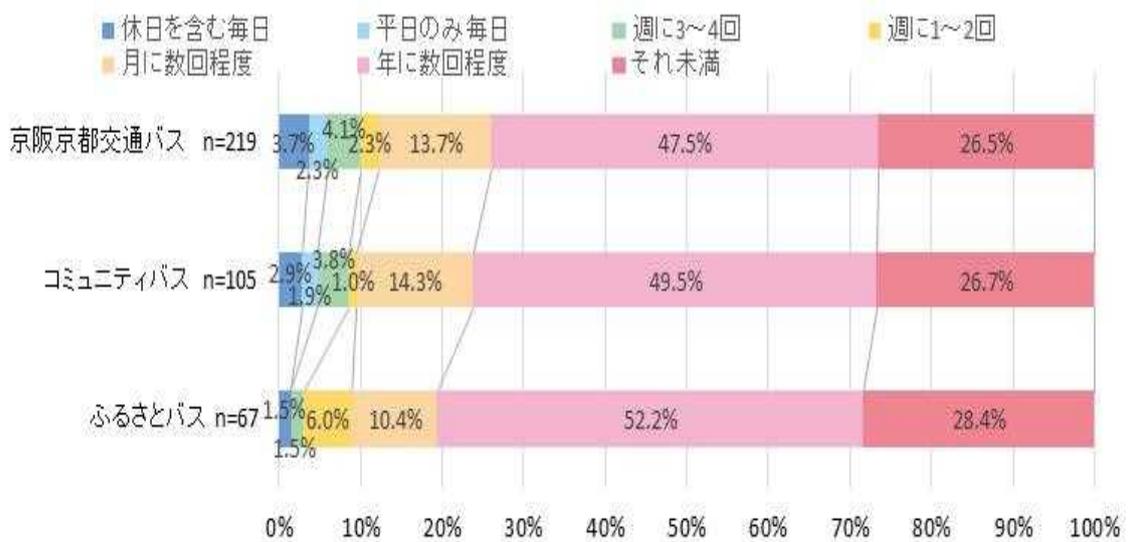


図 1 2 各バスの利用頻度

イ 各バスの利用目的（複数回答）

- 各バスとも一定割合で「通勤」や「通学」での利用者が見られる。京阪京都交通バスは他のバスと比べて「通勤」や「通学」の割合が高い。
- コミュニティバスでは、「買い物」、「趣味」の割合が他のバスより高い。
- ふるさとバスでは、「通院」、「仕事」、「地域活動」の割合が他のバスより高い。

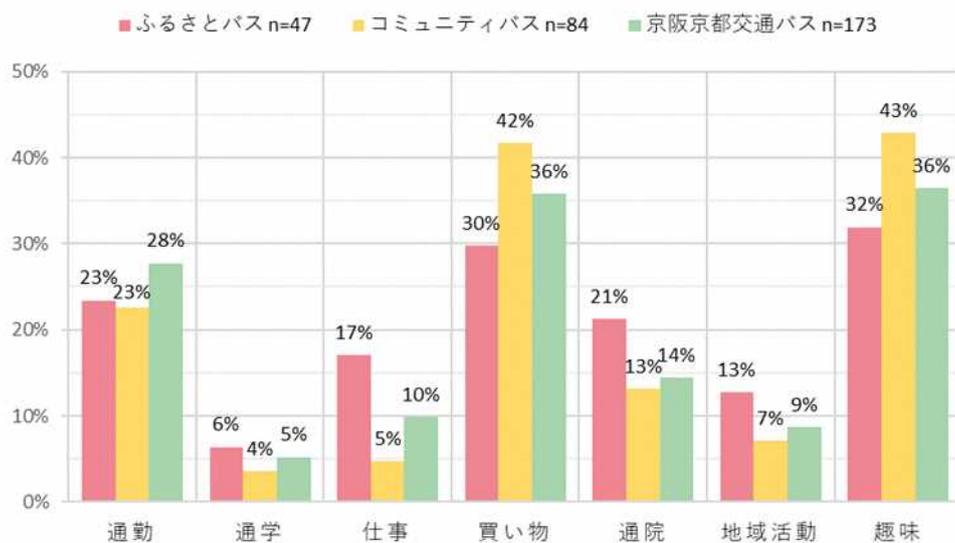


図13 各バスの利用状況

ウ バス利用者の満足度

- 「路線・系統」は普通が29.2%、満足、不満はともに32%前後と同程度である。
- 「運賃」は「路線・系統」に比べて普通の割合が高い。満足・不満の割合はともに25%前後と同程度である。
- 「ダイヤ」は不満の割合が高い。不満の割合は65%と満足とする人の約7倍となっている。
- 「車両」については普通が約50%。満足とする人は不満よりも多い。

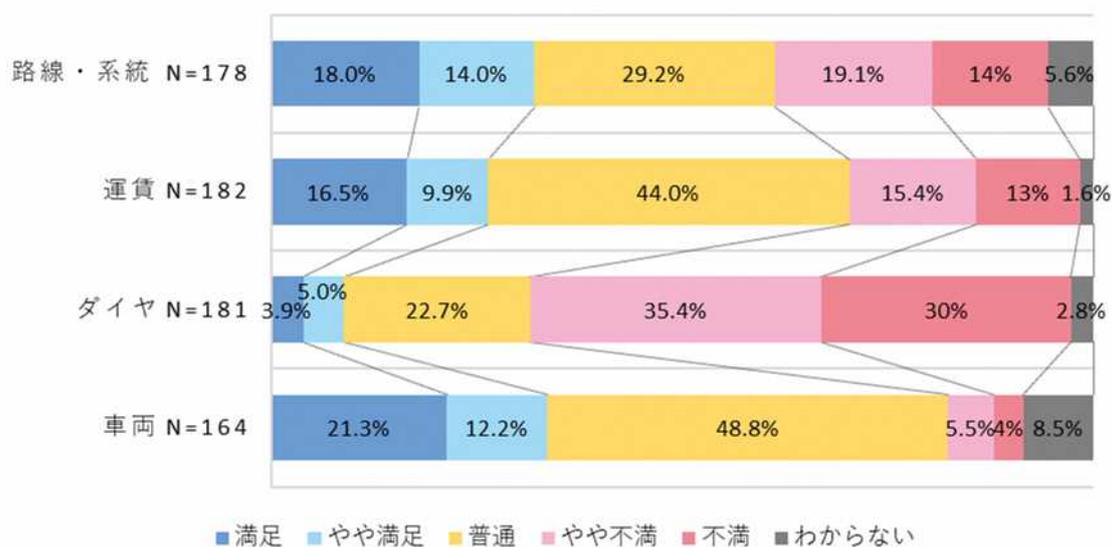


図14 バスの満足度

- 不満についての具体的な意見をみると、運行本数が少ない、ダイヤが利用しにくい、路線や系統が使いにくいことに関する意見が目立つ（表1参照）。

表1 バスの不満に関する具体的な意見

意見内容	意見	住まい
ダイヤ・本数	亀岡病院前→JR 亀岡駅、到着時間がマチマチでおおむね遅れることが95%ある。1時間に本数が2本（昼間）は少ない。3本にしてほしい。JR 亀岡駅→南つつじ方面、これも1時間に2本。少ないと思う。市民の足としては不便。大きなバスでなくても良いから本数を増やしてほしい。	篠町
ダイヤ・本数 系統・路線	路線が分かりにくく、駅に行きたくても遠回りすぎて利用する気になれない。通勤通学時間帯に本数がないため、市外からの通勤者なども利用しにくいと思う。	本町
ダイヤ・本数	70歳過ぎたら運転止めたいと思っているので、ダイヤを増やしてほしいです。	千歳町
ダイヤ・本数	住んでいる地区にはコミュニティバスがなく、高齢で原付バイクを乗らざるを得ない。なぜならダイヤが非常に少ない。改善してほしい！	上矢田町
ダイヤ・本数	乗車する人が少ないのでバスの本数が少ないのは理解できますが、それしか手段のない人には少なすぎて困っています。	保津町
系統・路線	駅から公共施設だけでなく、商業施設を回るコースを充実させてほしい。	篠町
系統・路線	ふるさとバスが並河終点なので、とても不便です。市役所、ガレリア等を利用したくてもできません。市民なのに市の施設が利用できないのはとても悲しいです。ぜひ「ふるさとバス」を市役所ガレリア経由にしてください。お願いします。桜ヶ丘自治会の高齢者は困っています。並河駅まででは役に立ちません。	大井町
系統・路線	馬堀からの直通バスを出してほしい。ガレリアでサークルもありますが、直通のバスがないので不便。	篠町
系統・路線 料金 ダイヤ 運行時間帯	亀岡駅までの直通がなく不便。バス料金が安い。循環バスがない。バスの本数が少なく行先の時間に合わせると、かなり早い時間に乗ることになる。始発バスの時間が遅い。亀岡駅から帰ってくるのに、最終のバスの時間が早すぎる。	西別院町
運行時間帯	ガレリアで各種催し物に参加したいが（北町南拠点）開催時間終了時間のダイヤがない。帰りも駅経由になるので利用できない。	西町
運行時間帯	もう少し馬堀駅からの最終便を増やしてほしい。	篠町
ダイヤ 運行時間帯	土・日・祝の最終バスが早すぎる。また、夜のダイヤが少なすぎる。	南つつじヶ丘
運行時間帯	利用したい時間帯にバスがないため、使いにくい。	古世町
運行時間帯	畑野在住です。最終をせめて21時にしてほしいです。	畑野町
情報提供	本数が少なく接近表示がないのでいつ来るかわからない。バス停（亀岡駅）の行先が分かりにくい。	篠町
空白地	空白地域をなくしてほしい。路線乗り継ぎ考えて！	篠町
車両	山間部の車両を見直すべきと思う。ほとんど利用されていない。もう少し小さい車両を使うなど。	千代川町

④ 市民のバスに対するニーズ

ア バスを今後も利用し続けるためには重要だと思うサービス

- 「運行本数・運行間隔」に対するニーズが最も高い。とりわけ、ふるさとバス利用者のニーズが高い。
- 次いで、「安価な運賃」、「早朝や夜遅い時間帯の運行」、「鉄道やバス同士の乗り継ぎ」の順となっている。「鉄道やバス同士の乗り継ぎ」に関しては京阪京都交通バス利用者のニーズが高い。
- また、ふるさとバス利用者は「自宅近くや目的に近いところでの乗降」に対するニーズが高い。
- 一方でニーズが低いのは「車内の混雑」、「バス停での屋根やベンチの設置」等である。また、比較的利用頻度の低いふるさとバスでは「利用すればするほどお得な運賃サービス」に対するニーズが低い。

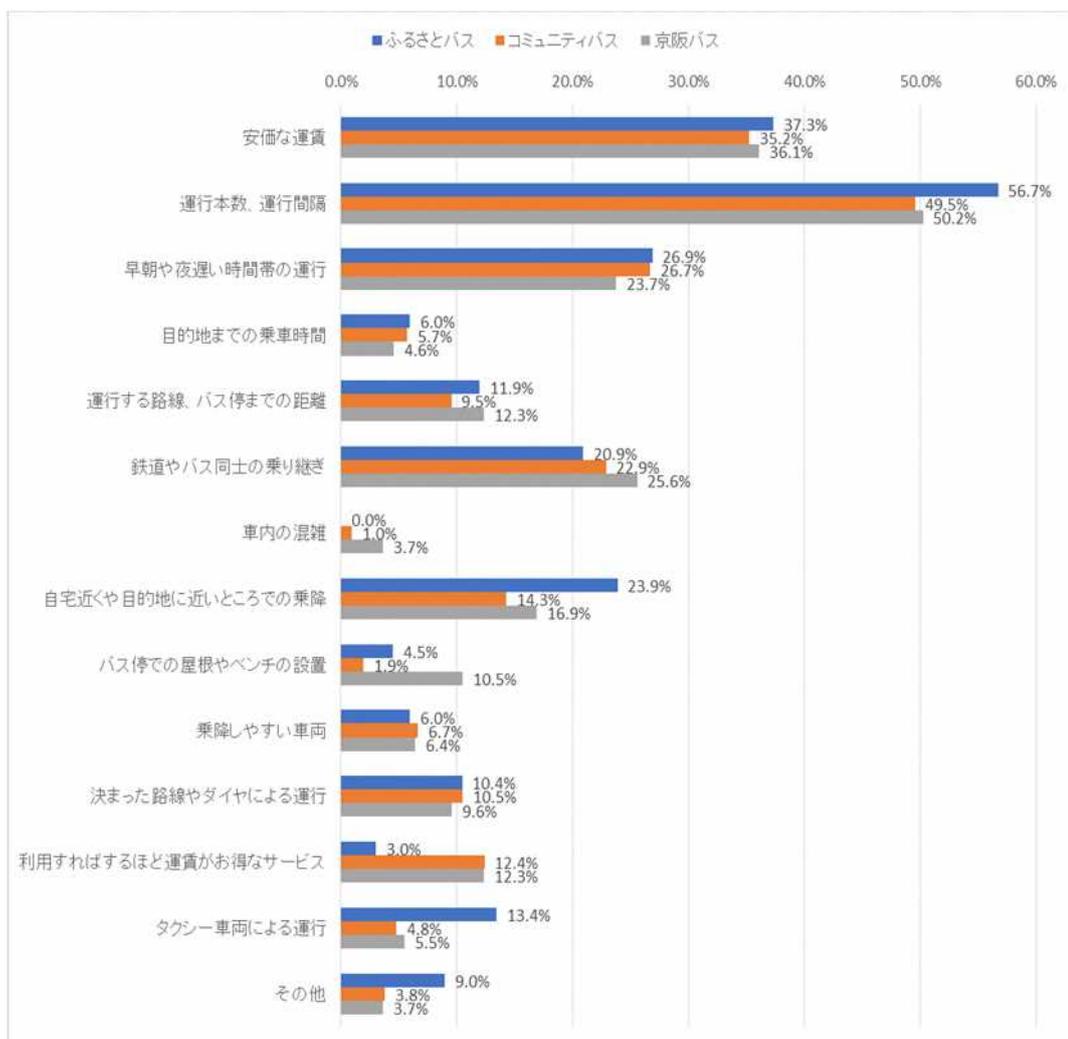


図 15 バスを今後も利用し続けるためには重要だと思うサービス

イ バスを利用しない理由

- どの地区でも「自動車や自転車の方が圧倒的に便利」の割合が最も高い。大井・千代川地区では約50%である。
- 「利用したい時間帯にバスがない」の割合が高いのは、亀岡地区、川東地区、西部・中部・南部地区である。さらに、西部・中部・南部地区では「自宅の近くに路線がない」の割合も高い。
- 「行きたい場所への運行がない」の割合が高いのは、篠地区、川東地区、大井・千代川地区である。
- また、千代川地区では「バスのダイヤやバス停の場所を知らない」の割合が高い。

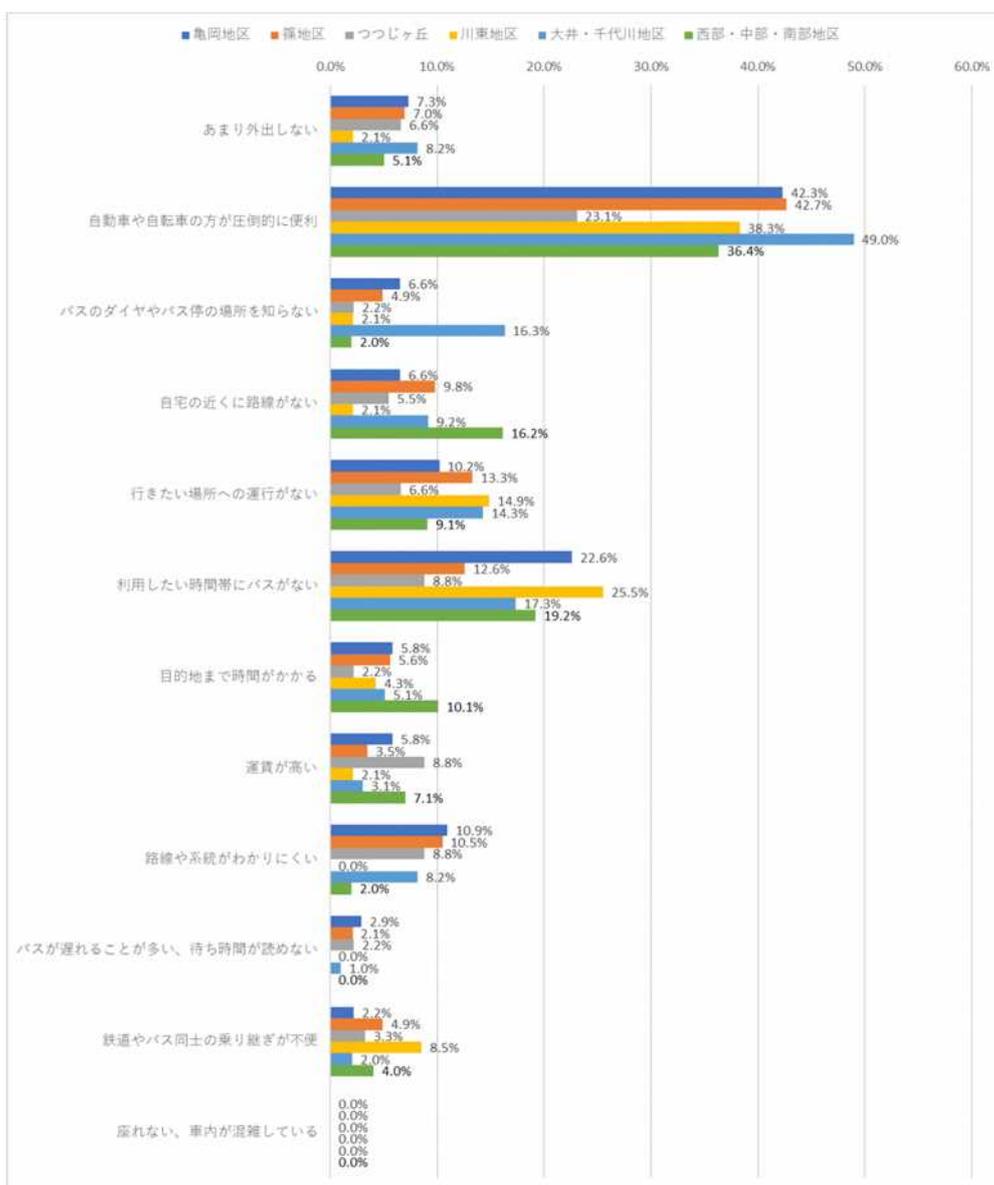
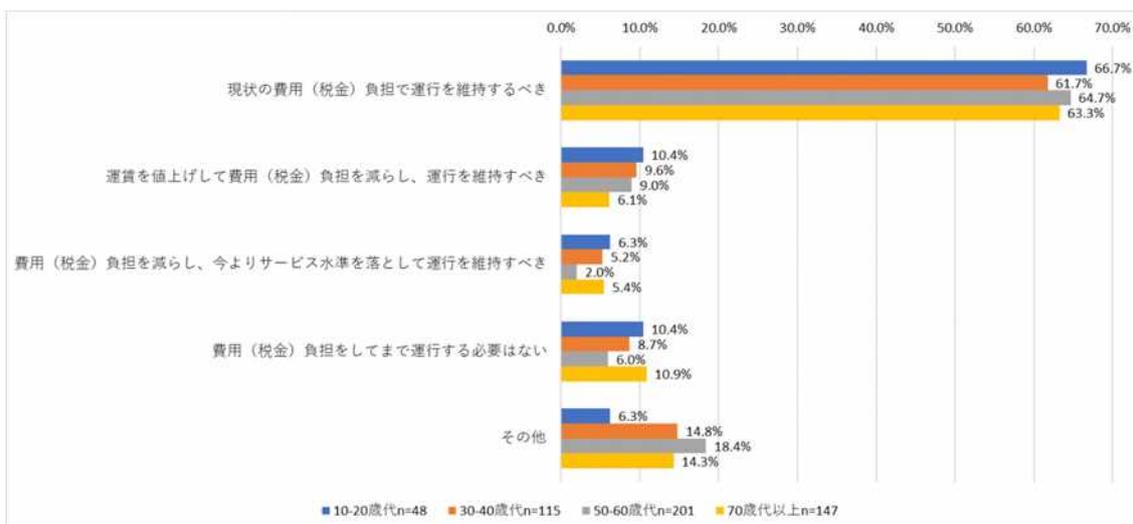
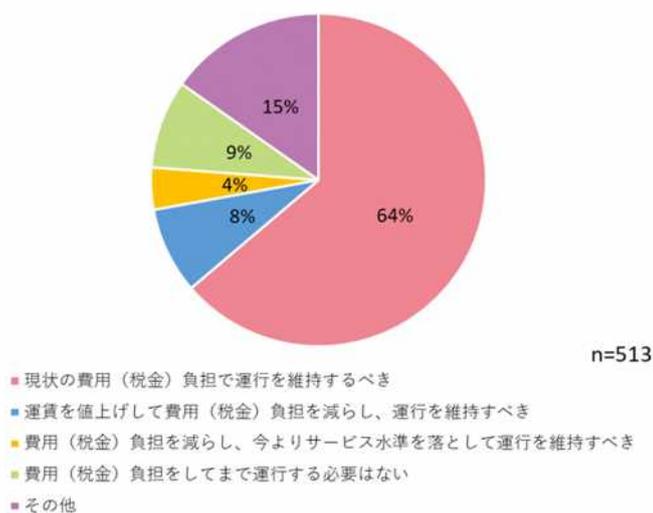


図16 バスを利用しない理由

ウ 亀岡市内公共交通の今後あるべき姿

- 「現状の費用（税金）負担で運行を維持するべき」が64%と過半数以上を占めている。公共交通維持のための一定の負担を容認している。
- 年齢別では、「現状の費用（税金）負担で運行を維持するべき」との回答率が一番高いのは80歳代以上である。
- 地域別では、「現状の費用（税金）負担で運行を維持するべき」との回答率が一番高いのはつつじヶ丘地区であり、次いで西部・中部・南部地域が高い。
- 川東地区では「費用（税金）負担を減らし、今よりサービス水準を落として運行を維持すべき」の回答が0だった。



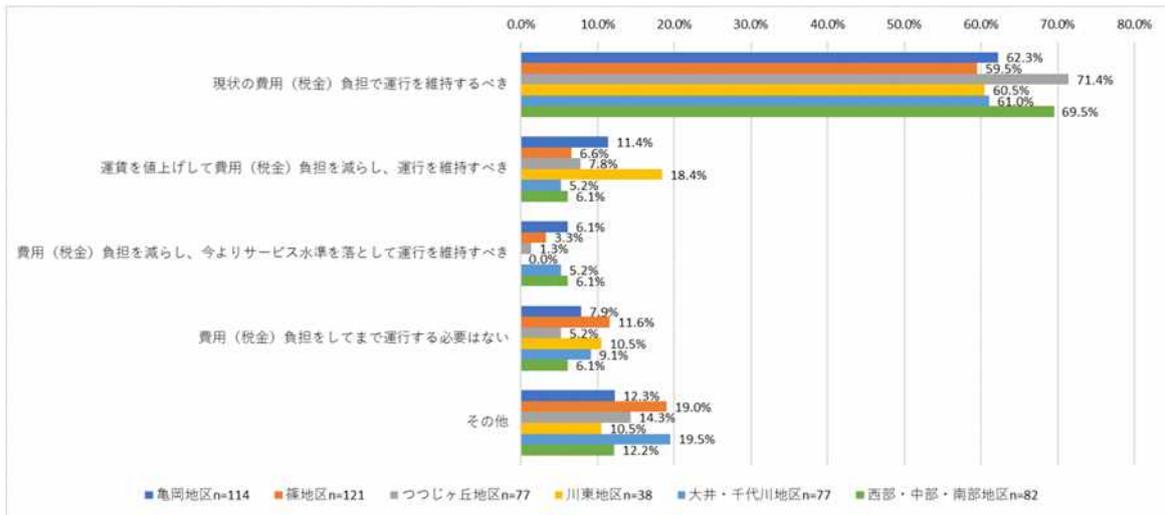


図 1 7 亀岡市内公共交通の今後あるべき姿

⑤ まとめ

<市民の交通行動等の特徴>

- ・「通勤・通学」「買い物」等といった日常の行動において**自動車の利用率が高い**。世帯の自動車保有台数も多く、複数台所有する世帯も多い中、**自動車依存度の高い地域**といえる。
- ・年齢が上がるにつれ運転免許返納者の割合が高くなる傾向にあり、80歳代では14%にも上る。
- ・通勤・通学先は亀岡市内が多いものの、京都市への通勤・通学者の方が多いたる地区も存在する。また、通勤・通学においては自動車に次いでJR山陰本線の利用率が高い。
- ・免許非保有者のうち高齢者は、自動車（家族による送迎）、タクシーの利用率が高い。また、**免許返納者はバスの利用割合が高い**。

→ 免許返納者はバスの利用割合が高いことから、現状においても一定バス交通が整備されていると考えられるが、今後高齢化が進む中、運転免許返納者の増加も予想され、そのような社会情勢の変化に対応した公共交通体系の確保が必要である。

<バスの利用状況>

- ・バス非利用者の割合は50%を超えており、特に**ふるさとバスとコミュニティバス**は80%前後となっている。
- ・バスの利用率をみると、**京阪京都交通バス**については**一定の通勤・通学利用**があり、利用率が高い。**コミュニティバス**は**買い物、趣味での利用**が多く、**ふるさとバス**では、**通院、仕事、地域活動での利用**が多い。ともに、京阪京都交通バスと比べると利用率、利用頻度は低い。
- ・バス利用者の満足度としては、「路線・系統、運賃、車両」については、満足・普通とする人が60%を超えている。一方で「ダイヤ」については、不満とする人が60%を超えている。

→ バス非利用者の割合が高いことから、公共交通に関する関心の喚起が必要である。

→ 「ダイヤ」に関する不満が多いことから、利用目的（通勤・通学、買い物、趣味、通院、仕事、地域活動）に対応したダイヤ編成など、利便性の向上が必要である。

＜バスに対するニーズ＞

- ・バス利用者のニーズとしては「**ダイヤ**」に対する不満が強く、本数が少なすぎて利用できないといった意見が目立つ。
- ・バス非利用者の多くは、公共交通を利用しない理由として、「自動車等の方が圧倒的に便利だから」と回答しているものの、「利用したい時間帯にバスがない」、「鉄道やバス同士の乗り継ぎが不便」、「自宅の近くに路線がない」といったバス側の理由を挙げる人もみられた。
- ・今後もバスを利用し続けるために重要だと思うサービス（優先して税金を投入すべき項目）として「**運行本数、運行間隔**」が最も多い。とりわけ、ふるさとバス利用者のニーズが高い結果となった。

→ 「**ダイヤ**」に関する不満が多いこと、また今後もバスを利用し続けるために重要だと思うサービスとして「**運行本数、運行間隔**」が最も多いこと等から、利便性の向上等の対策が必要である。

→ バス非利用者への公共交通に関する関心の喚起が必要である。

＜公共交通の今後のあるべき姿＞

- ・「**現状の費用（税金）負担で運行を維持すべき**」との意見が過半数以上を占めており、公共交通維持のための一定の負担を容認している。

→ 公共交通維持のための一定の負担（現状の費用負担）が容認されているが、利便性向上等の取り組みとあわせて、持続可能な公共交通実現に向けた取り組みも必要である。

亀岡市の公共交通に関するアンケート調査

～ アンケート調査ご協力のお願い ～

本アンケート調査は、亀岡市にお住まいの皆様の日常生活における公共交通の利用状況や、将来の亀岡市の公共交通のあるべき姿についてどのようにお考えなのかを把握し、今後の亀岡市の公共交通に関する計画を検討するための基礎資料とするために実施するものです。ご多用のところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

- ▶ 回答は、各質問の指示に従い、下記のアンケート調査票に直接回答をご記入ください。
- ▶ いただいた回答については、他の目的には一切使用しません。
- ▶ ご回答いただいたアンケート調査票は返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **8月31日(金)**までにポストにご投函ください。

調査実施主体：亀岡市まちづくり交通課

問い合わせ先：担当 川内(かわうち)、葛井(くずい) TEL 0771-25-5083 (受付時間 9:00～17:00)

問1 あなたご自身についてお尋ねします。

① 年齢	<input type="text"/> 歳代	② 性別	<input type="text"/> 1. 男性 <input type="text"/> 2. 女性
③ 職業	<input type="text"/> 1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 専門職 4. 学生 5. 専業主夫・主婦 6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他()		
④ お住まいの郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
⑤ 世帯状況	▼人数 ▼構成		
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 1. ご自身のみ 2. ご自身+配偶者 3. ご自身(+配偶者)+子ども(未婚) 4. ご自身(+配偶者)+子ども(既婚) 5. ご自身(+配偶者)+親 6. その他		
⑥ 交通の移動状況			
くるまの運転免許 ▶	<input type="text"/> 1. あり 2. なし 3. 返納した		
くるまの運転 ▶	<input type="text"/> 1. できる 2. できるが不安 3. できない		
自由に使える自動車 ▶	<input type="text"/> 1. あり ⇒()台 2. なし		
自由に使える自転車 ▶	<input type="text"/> 1. あり 2. なし		

中面に続きます

問2 ご自宅を出発地とした日頃の行動・移動について以下の目的別にお尋ねします。

あてはまる数字に○をつけてください。

A:通勤・通学

① 日頃、通勤や通学で外出されますか。

1. する ⇒ ②へ 2. しない ⇒ **B:買い物**へ

② 通勤・通学先はどこですか。市町村名でお答えください。また、行き先が亀岡市内の場合は行き先の郵便番号もしくは学校名等をお答えください。

市町村名▶ 亀岡市内の場合▶ -
 (学校名等)

③ 通勤・通学先への亀岡市内で利用する交通手段をお答えください。(利用するもの全てに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(家族などが送迎)	6. タクシー
7. 亀岡市ふるさとバス	8. 亀岡市コミュニティバス	9. 京阪京都交通バス
10. JR山陰本線(鉄道)	11. その他()	

↓ 上記で、「10. JR山陰本線」とお答えの方、乗車される最寄り駅はどれですか。

1. 馬堀駅 2. 亀岡駅 3. 並河駅 4. 千代川駅 5. その他()駅

B:買い物

① 日頃、買い物で外出されますか。

1. する ⇒ ②へ 2. しない ⇒ **C:通院・福祉・地域活動**へ

② 買い物先はどこが多いですか。□□□に具体的な店名を3つまでお書きください。

記入例▶ スーパー●● ▲▲店 ■■亀岡店 ドラッグストア○○ ××店

③ ②でお答えの買い物先へは、どれくらいの頻度で行きますか。

1. 休日を含む毎日	2. 平日のみ毎日	3. 週に3~4回
4. 週に1~2回	5. 月に数回程度	6. それ未満

④ ②でお答えの買い物先へ行くときの亀岡市内で利用する交通手段をお答えください。(利用するもの全てに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(家族などが送迎)	6. タクシー
7. 亀岡市ふるさとバス	8. 亀岡市コミュニティバス	9. 京阪京都交通バス
10. JR山陰本線(鉄道)	11. その他()	

↓ 上記で、「10. JR山陰本線」とお答えの方、乗車される最寄り駅はどれですか。

1. 馬堀駅 2. 亀岡駅 3. 並河駅 4. 千代川駅 5. その他()駅

C:通院・福祉・地域活動

① 日頃、通院、福祉活動、地域活動(サークル活動等)の用事で外出されますか。

1. する ⇒ ② へ 2. しない ⇒ **問3** へ

② 日頃よく行かれる病院や福祉施設はどこが多いですか。

に具体的な病院や施設等の名称を2つまでお書きください。

記入例 ▶ 亀岡市立病院 ガレリアかめおか

③ ②でお答えの病院・施設へは、どれくらいの頻度で行きますか。

1. 週に3～4回 2. 週に1～2回 3. 月に数回程度 4. それ未満

④ ②でお答えの病院・施設へ行くときに亀岡市内で利用する交通手段をお答えください。

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(家族などが送迎)	6. タクシー
7. 亀岡市ふるさとバス	8. 亀岡市コミュニティバス	9. 京阪京都交通バス
10. 病院送迎バス	11. JR山陰本線(鉄道)	12. その他()

↑ 上記で、「11. JR山陰本線」とお答えの方、乗車される最寄り駅はどれですか。

1. 馬堀駅 2. 亀岡駅 3. 並河駅 4. 千代川駅 5. その他()駅

問3 亀岡市内のふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バスの利用状況等 についてお尋ねします。

① ふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バスのそれぞれの利用状況と利用目的をお答えください。選択肢からあてはまるものをお選びください(利用状況は1つ、利用目的は2つまで)。

	利用状況(1つ)	利用目的(2つまで)
ふるさとバス	<input type="text"/>	<input type="text"/>
コミュニティバス	<input type="text"/>	<input type="text"/>
京阪京都交通バス	<input type="text"/>	<input type="text"/>

利用目的

1. 通勤 2. 通学
3. 仕事 4. 買い物
5. 通院 6. 地域活動(サークル活動等)
7. 趣味 8. 利用したことがない

利用状況

1. 休日を含む毎日	2. 平日のみ毎日
3. 週に3～4回	4. 週に1～2回
5. 月に数回程度	6. 年に数回程度
7. それ未満	8. 利用したことがない

☆利用状況について、いずれか「1」～「6」とお答えの方 ⇒ ② へお進みください
 利用状況について、すべてを「7」または「8」とお答えの方 ⇒ 裏面の ④ へお進みください

② ふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バスの満足度について下記の項目別にお答えください。また、不満、やや不満とお答えの項目についてご意見等がありましたら 内にお書きください。

路線・系統 運賃 ダイヤ 車両

1. 満足	2. やや満足	3. ふつう	4. やや不満	5. 不満	6. わからない
-------	---------	--------	---------	-------	----------

ご意見等

裏面に続きます

- ③-ア 亀岡市内のバス(ふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バス)を、ご自身が今後も利用を続けていくために、バスのサービスとして重要だと思う項目(優先して税金を投入すべき項目)を次の中から3つまでお選びください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 安価な運賃 | 2. 運行本数、運行間隔 |
| 3. 早朝や夜遅い時間帯の運行 | 4. 目的地までの乗車時間 |
| 5. 運行する路線、バス停までの距離 | 6. 鉄道やバス同士の乗り継ぎ |
| 7. 車内の混雑(座れるかどうか) | 8. 自宅近くや目的地に近いところでの乗り降り |
| 9. バス停での屋根やベンチの設置 | 10. 乗り降りしやすい車両 |
| 11. 決まった路線やダイヤによる運行 | 12. 利用すればするほど運賃がお得なサービス |
| 13. タクシー車両による運行 | 14. その他() |

- ③-イ 一方で、経費削減のために、重視しなくても良いという項目がありましたら、上の選択肢の中から3つまでをお選びください。

- ④ 亀岡市内の公共交通(ふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バス)を利用しない理由は何ですか。次の中から3つまでお選びください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. あまり外出しない | 2. 自動車や自転車の方が圧倒的に便利 |
| 3. バスのダイヤやバス停の場所を知らない | 4. 自宅の近くに路線がない(バス停まで遠い) |
| 5. 行きたい場所への運行がない | 6. 利用したい時間帯にバスがない |
| 7. 目的地まで時間がかかる | 8. 運賃が高い |
| 9. 路線や系統がわかりにくい | 10. バスが遅れることが多い、待ち時間が読めない |
| 11. 鉄道やバス同士の乗り継ぎが不便 | 12. 座れない、車内が混雑している |

以降の質問は全ての方がお答えください。

- ⑤ 亀岡市内の公共交通(ふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バス)は今後どうあるべきだと思いますか。

- | |
|---|
| 1. 現状の費用(税金)負担で運行を維持すべきである |
| 2. 運賃を値上げして費用(税金)負担を減らし、運行を維持すべきである |
| 3. 費用(税金)負担を減らし、今よりサービス水準を落として運行を維持すべきである |
| 4. 費用(税金)負担をしてまで運行をする必要はない |
| 5. その他 () |

問4 その他に亀岡市内の公共交通についてご意見があれば、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。